

発刊にあたって

根室市青少年問題協議会

会長 根室市長 石垣 雅 敏

現在の青少年を取り巻く環境は、都市化、核家族化、少子化等の進行によって地域の連帯感が薄れ、地域社会における人間関係が希薄化していると言われております。

さらに、近年では新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、学校の休校やステイホーム、ソーシャルディスタンスの確保など、人と人との関わりを制限しなくてはならない状況で、社会全体に不安が広がり、家庭内におけるストレス増大や社会的孤立が懸念されています。

一方で、スマートフォンやSNSをはじめとする情報通信機器・サービスが急速に普及し、外出自粛中の使用時間増加に起因するトラブルや凶悪犯罪など、複雑・多様化する社会問題に対しては、柔軟で適格な対策を講じていくことが求められています。

青少年の持つ若い力は、社会に活力を与え、将来に向かって社会を発展させる原動力であり、コロナ禍の現状においても、WITHコロナの新しい生活様式で「市民誰もが住み慣れた根室で生き生きと暮らす」ためには、必要不可欠な力があります。

このことから、青少年自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、非行に陥ることなく、心身共に健やかにたくましく成長することができるよう、「根室市青少年対策推進要綱」に基づき、家庭、学校、地域、関係機関・団体等が連携を強化し、今後も継続して問題の早期発見、早期解決、未然防止に努めてまいります。

このたび、関係各位のご理解とご協力により、令和3年度『あゆみ』（第52号）を発刊することができました。今後の青少年の健全育成、非行防止の一助としてご活用いただければ幸に存じます。

最後に、市民の皆様や関係機関・団体がそれぞれの立場から、青少年の健全育成にご尽力いただいておりますことに、心より敬意と感謝を申し上げ、発刊にあたってのあいさつといたします。